



## 「NEC グリーンロケツ東葛」の新たな出発について ～JR 東日本グループが「NEC グリーンロケツ東葛」の栄光の歴史を引き継ぎます～

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢 陽一、以下 JR 東日本）と日本電気株式会社（本社：東京都港区、取締役 代表執行役社長兼 CEO：森田 隆之、以下 NEC）は、NEC が運営するラグビーチーム「NEC グリーンロケツ東葛」について、NTT ジャパンラグビー リーグワン 2025-26 終了後の 2026 年 7 月に JR 東日本グループがその栄光の歴史を引き継ぐ契約を締結しました。
- 「NEC グリーンロケツ東葛」は、新たな出発を迎え、引き続き NTT ジャパンラグビー リーグワンで活動していきますので、引き続き変わらぬ熱い応援・ご支援を賜りますようお願いします。

### 1. JR 東日本からのコメント

JR 東日本グループでは、「全社員で安心と感動を持続的に生み出し、ステークホルダーの信頼に応え、すべての人の心豊かな生活を実現します。」をグループ理念として、事業活動を通じてさまざまな地域課題の解決に貢献する志高い企業グループを目指しています。現在、JR 東日本グループでは、5 つの企業スポーツチーム\*が活躍しており、企業スポーツの活動を通じた、健全な人材育成、競技人口のすそ野の拡大、地域の活力の醸成など、社会課題の解決に取り組んでいます。

今回、新たに企業スポーツチームとして、グループ一体となった地域社会のさらなる活性化への貢献に向けて「NEC グリーンロケツ東葛」を迎えることにより、NTT ジャパンラグビー リーグワン 2026-27 から参加します。

また、ホストエリア（千葉県の 8 自治体）、チームが運営するアカデミーやファンクラブ、ホストスタジアム（柏の葉公園総合競技場）も引き継ぐ予定であり、今後関係者と協議を行います。なお、新たなチーム名称などについては決定次第お知らせいたします。

これまで「NEC グリーンロケツ東葛」が様々なステークホルダーと共に積み重ねてきた歴史と伝統に敬意を表すとともに、今後 JR 東日本グループのお客さまや地域の皆さまの生活と幅広い接点を持つ強みをいかした新たな取り組みに積極的に挑戦することでチームのさらなる発展を目指します。

\*JR 東日本グループ 5 つの企業スポーツチーム：野球部（東京・東北）、女子柔道部、秋田バスケットボール部、八王子ランニングチーム

### 2. NEC からのコメント

NEC はチームを中長期にわたり持続可能な形で発展させていくため、2025 年 8 月からチームの譲渡に向け検討を進めてきましたが※、ラグビーへの強い情熱を有し、スポーツチームの活動を積極的に支援してきた実績を持つとともに、東葛地域との関係性も深い JR 東日本に譲渡することが最善と判断しました。

NEC はこれまで培ってきたチームの資産を JR 東日本に円滑に承継するため最大限の努力を行います。また、チーム譲渡後も NEC 我孫子事業場内の練習グラウンドやクラブハウスを JR 東日本に貸与するなど、パートナーとして引き続きチームの発展を支援します。

「NEC グリーンロケツ東葛」を応援・ご支援いただいているすべての皆さまには心より感謝申し上げるとともに、チーム譲渡後も引き続き変わらぬ熱い応援・ご支援を賜りますようお願いします。

※2025年8月20日発表プレスリリース：「NEC グリーンロケツ東葛」の譲渡に向けた検討開始について

[https://jpn.nec.com/press/202508/20250820\\_02.html](https://jpn.nec.com/press/202508/20250820_02.html)

(参考)

(「NEC グリーンロケツ東葛」のこれまでの軌跡)

1985 年 : NEC ラグビー部として創部  
1990 年 : 関東社会人リーグ 1 部 優勝  
2002 年 : 第 40 回日本選手権 優勝 (初優勝)  
2003 年 : マイクロソフトカップ 優勝 (初優勝、初代チャンピオン)  
2004 年 : 第 42 回日本選手権 優勝  
2005 年 : 第 43 回日本選手権 優勝  
2021 年 : 「NEC グリーンロケツ東葛」に名称を変更。我孫子市、柏市、松戸市、流山市、野田市、鎌ヶ谷市、白井市、印西市をホストエリアとする  
2022 年 : NTT ジャパンラグビー リーグワン参入

(JR 東日本グループとラグビーの関わり)

鉄道とラグビーには、深い歴史的なつながりがあります。今年は、1925 (大正 14) 年に当時の鉄道省にラグビー部が創部して以来、100 年目を迎えることとなりました。

鉄道省ラグビー部を起源とする JR グループのラグビー部は、社会人ラグビー黎明期と言われる大正時代末期から社会人ラグビーにおいて活動を続け、100 年に及ぶ伝統を持つ数少ない企業チームとして歴史を刻んでまいりました。

現在、トップイーストリーグに所属している「JR 東日本レールウェイズ」は、100 年前に誕生した国鉄・JR ラグビーの歴史の系譜を継承し、社業とラグビーの両立を図りながら活動を展開しております。「JR 東日本レールウェイズ」は、このたび NTT ジャパンラグビー リーグワンで活躍する「NEC グリーンロケツ東葛」を仲間に迎えることで、さらに地力を磨き上げることにより、トップイーストリーグの頂点を目指す戦いを通じて、その伝統と歴史の系譜を次世代につなぎ、日本のラグビー界の発展に貢献してまいります。

